

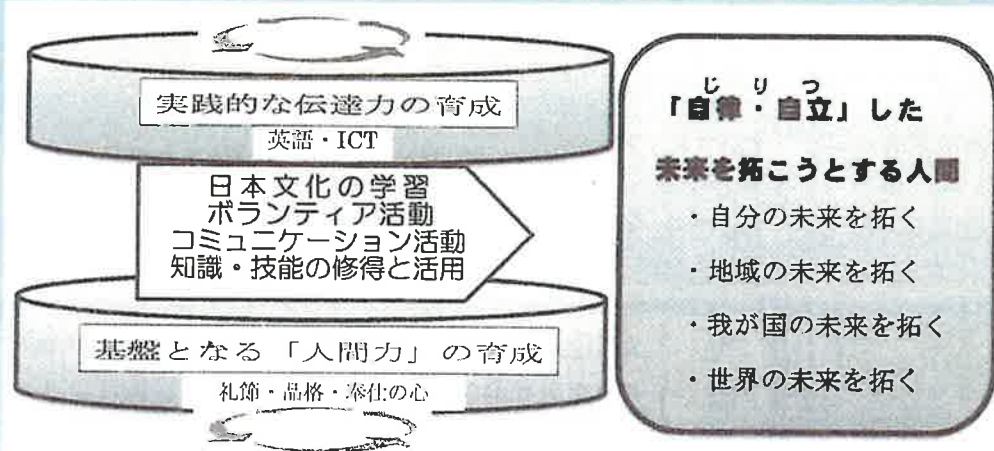
幼小中一貫校の開校に向けて シリーズ ⑪



新教科「みらい科」について

昨年12月末の深澤鳥取市長による定例記者会見で、学園章のデザインと学園歌の歌詞が公式発表されました。「学園歌」の作曲についても、推進委員会で推挙した山根万里さん（鳥取市在住）に依頼し、ほぼ完成しています。平成28年4月の「福部未来学園」の開校の際に披露したいと考えています。

さて、以前に「福部未来学園」には、「新しく『みらい科』という教科を設ける」と紹介しました。「みらい科」では、幼小中10年間の連続した系統的な学習の中で、英語などを使った「実践的な伝達力」や、礼節、品格、奉仕の心などの「基盤となる人間力」を身に付けさせたいと考えています。教科のイメージは図のようになります。



具体的には、日本文化の学習やボランティア活動、英語やICT（情報通信技術）などを使った他者とのコミュニケーション活動を通して、礼節、品格、奉仕の心など「基盤となる人間力」を育むとともに、地域での役割や自分の未来について積極的に目標を持つようとする向上心にあふれた子どもを育てたいと考えています。さらに、「実践的な伝達力」を身に付けた「自律・自立（じりつ）した「未来を拓こうとする人」としての資質を養うことをねらいとしています。教育目標である「ふるさとの未

来を拓き、創造する福部の宝」を育てる上で大切な教科となります。

新教科「みらい科」も、「福部未来学園」の開校に合わせて実施する予定です。